

中学 1 年 国語科 教材別テスト① 模範解答・解説

詩「朝のリレー」(谷川俊太郎)／光村図書『国語 1』

【このテストの使い方】

本文は載せていません。教科書『国語 1』の「朝のリレー」のページを開いたまま解答します。行番号は詩の一行目から順に①②③…と数えたものです。教科書を見ながら解くので、「読んで答えを探す力」ではなく「詩のしくみと表現を理解しているか」を確かめるテストになっています。

配点一覧

観点	大問	内容	配点
知識・技能 50点	一	漢字の読み書き (20問)	1 点×20＝ 20点
	二	漢字の知識 (総画数・部首の位置・部首名)	2 点× 5＝10 点
	三	A 日本語の音声 (母音・子音・アクセント)／B 語句 (同音異義の熟語を使った短文完成)	2 点×10＝ 20点
思考・判断・ 表現 50点	四	詩「朝のリレー」の読解	50点
合計			100点

【出題のねらい】

- ① 詩の形式 (口語自由詩) と連という用語を正しく覚えているか。
- ② 「朝／夜」を表す語句を手がかりに、地球上の時差という設定を読み取れるか。
- ③ 前半の具体的な情景描写と、後半の抽象的なまとめという構成の対比に気づけるか。
- ④ 「リレー」「バトン」という比喻 (擬人法的な見立て) が何をたとえているかを説明できるか。
- ⑤ 指示語 (それ) と、ひらがなの言葉 (いわば・ひととき) の意味を文脈から判断できるか。

一 漢字の読み書き（1点×20＝20点）

①	おせん	②	がんこ
③	すみ（やか）	④	くのう
⑤	くわだ（てる）	⑥	あざ（やかな）
⑦	びょうしゃ	⑧	あんたい
⑨	かいほう	⑩	だぼく
⑪	童謡	⑫	傑作
⑬	悪癖	⑭	頭髮
⑮	超人	⑯	明星
⑰	懸命	⑱	愉快
⑲	複雑	⑳	衝撃

【注意したい字】

⑬「悪癖」の「癖」は、やまいだれの中が「辟」。⑯「明星」は「みょうじょう」と読む特別な読み方（「明けの明星」は夜明け前の金星）。⑰「懸命」を「賢明」と書くと別の意味（かしこいこと）になる。⑳「衝撃」の「衝」を「衡」と書かない。

二 漢字の知識（2点×5＝10点）

問	解答	解説
(1)	ア → エ → ウ → イ	疲＝10画（やまいだれ5＋皮5）、眺＝11画（目5＋兆6）、琴＝12画（珣8＋今4）、輝＝15画（光6＋軍9）。【完答】
(2)	ア（へん）	「悩」の部首は「忄（りっしんべん）」。
(3)	カ（にょう）	「起」の部首は「走（そうにょう）」。
(4)	こころ	「思」の部首は「心」。
(5)	りっとう	「利」の部首は「刂」。

三A 日本語の音声（2点×5＝10点）

問	解答	解説
(1)	母音	日本語の母音は a・i・u・e・o の五つ。
(2)	子音	日本語の音は、ふつう〈子音＋母音〉の組み合わせでできている（例：k＋a＝か）。
(3)	アクセント	語の中の音の高低がアクセント。文全体の調子は「イントネーション」で、区別して覚える。
(4)	文の最後を上げる（とよい。）	「文末を上げて発音する」なども可。質問や疑いを表すときは文末を上げる。八字。
(5)	イ	強調したい言葉は、ゆっくり・はっきり・やや強く発音する。前後に間（ま）をおくのも効果的。

三B 語句・短文完成（2点×5＝10点）

問	解答	解説
①	発展	ものごとがより大きく、さかんになること。
②	展望	「将来の展望」＝これから先の見通し。④の「眺望」と区別する。
③	放出	ためこんでいたものを外に出すこと。
④	眺望	「眺望」＝遠くまで見わたしたときの景色そのもの。実際の景色には「眺望」を使う。
⑤	捻出	苦心してお金や時間をつくり出すこと。語群の「シンコウ（振興）」は使わない。

四 詩「朝のリレー」の読解（50点） その1

問	解答	解説
(1) 3点	口語自由詩	用いる言葉で「口語詩／文語詩」、形式で「定型詩／自由詩」に分ける。この詩は現代の話言葉で、音数の決まりもないので「口語自由詩」。
(2) 3点	谷川俊太郎	「俊」「郎」の字に注意。ひらがなで書いたものは不可。
(3) 4点	きりんの夢 ・ 寝がえり	「夢を見る」「寝がえりをうつ」のはどちらも眠っているとき。順不同。 【完答】
(4) 4点	朝もや ・ 朝陽	「朝もや」は明け方に立ちこめるもや、「朝陽」は朝日。順不同。【完答】
(5) 3点	ウ	「いわば」＝「言ってみれば・例えるならば」。実際に守っているのではなく、たとえとして言っている。

四 詩「朝のリレー」の読解（50点） その2

問	解答	解説
(6) 6点	(例) 地球ではいつもどこかで朝がはじまっているということ。(26字)	前半は、カムチャツカ・メキシコ・ニューヨーク・ローマという四つの具体例を並べたうえで、⑨⑩行目でそれらをまとめている。まとめの二行の内容を書けばよい。
(7) 3点	エ	「交替で」は時差のこと。眠っている人のかわりに、朝をむかえた人が起きている。世界の人々が朝でつながっているという意味。アは「自然」が、イ・オは詩にない内容。
(8) 3点	イ	「ひととき」＝ちょっとの間。「一時間」と決まった長さではない。
(9) 4点	目覚時計のベル	直前の⑮行目の内容を指す。七字ちょうどで抜き出す。「目覚時計」（4字）だけでは不可。
(10) 2点 ×3	ア 眠る イ だれか（誰か） ウ 朝をむかえている（8字）	「あなたが眠るとき、地球のどこかではだれかが朝をむかえている」という時差の関係をまとめる。ウは「朝をむかえる」「目を覚ましている」なども可。
(11) 4点	ぼくら ・ あなた	前半は「若者・娘・少女・少年」と他人を指す言葉ばかりだが、後半で「ぼくら」「あなた」と読者をふくむ言葉に変わる。順不同。【完答】

四 詩「朝のリレー」の読解（50点） その2（つづき）

問	解答	解説
(12) 7点	ア 朝をリレーする（7字・2点） イ バトン（2点） ウ 朝（1点） エ ウ（具体的）（1点） オ ア（抽象的）（1点）	イは詩に出てこない言葉を自分で考える問題。リレー競技から連想する「バトン」が入る。ウは⑭～⑰行目から一字で抜き出す。エ・オは、前半＝四つの国の具体的な情景、後半＝「地球」「ぼくら」という抽象的なまとめ、という構成の対比。

知識・技能 50点 ／ 思考・判断・表現 50点 ／ 合計 100点

【採点基準】記述問題

- (6) ①「地球（世界）では」という場所、②「いつもどこかで」という時間、③「朝がはじまっている」という内容、の三つがそろって6点。①または②が抜けていれば4点。③だけなら2点。字数（20～28字）をはずれたものは2点減。文末が「～こと。」でないものは1点減。
- (10)ウ 「朝をむかえている」「朝になっている」「目を覚ましている」など、〈あなたが眠っている時刻に、その人は朝である〉という関係が書けていれば正解。字数（5～8字）をはずれたものは不可。
- (12)イ 「バトン」のみ正解。「たすき」は駅伝のものなので不可とする。

【この教材で落としやすいポイント（8つ）】

1. 「口語自由詩」を五字で答える。「自由詩」「口語詩」だけでは不十分。〈言葉＝口語／文語〉と〈形式＝自由／定型〉を必ずセットで覚える。
2. 連（れん）と行の区別。まとまりが「連」、一行が「行」。「段落」と書かないこと。
3. 抜き出しは字数ちょうどで。(3)は「きりんの夢」（5字）、(9)は「目覚時計のベル」（7字）。前後を一字多く書くだけでバツになる。
4. 「いわば」は「例えるならば」。「いわば」を「言わなければ」と読みちがえないこと。「交替で地球を守る」は本当に見張っているのではなく、たとえ。
5. 「ひととき」は短い時間。「一時」という漢字から「一時間」と考えてしまう人が多い。
6. 指示語は必ず直前をさがす。「それ」（⑯行目）は、すぐ前の⑮行目「目覚時計のベル」。あとの「あなたの送った朝」を答えにしないこと。
7. 前半＝具体／後半＝抽象。四つの国名が並ぶ前半が具体的、「この地球」「ぼくら」でまとめる後半が抽象的。逆に答える人が多い。
8. 「ぼくら」「あなた」に気づく。遠い国の話が、読者自身の話に変わるしかけ。この二語が詩のテーマをささえている。

